

学校だより
「まんだ」
No.15

自他を大事にする子供 学び続ける子供 共に未来を切り拓く子供



認める力

やりぬく力

表現する力

授業参観お世話になりました

先日の授業参観は、寒い中、多くの方に参観いただき、ありがとうございました。やはり、子供たちの様子もいつもとは違っていて、いつも賑やかなクラスが神妙にしていたり、いつも静かなクラスが活気にあふれています。子供たちなりにいいところを見せようと張り切っているのだと思います。（張り切って手を挙げてみたものの、「忘れました。」と言って座る子もいましたけど。）

6年生は、保護者相手に万田坑ガイドをしました。「グループごとにガイドを始めましょう！」の先生の合図に、6年生男子が「ママーッ」とお母さんを呼びます。親が来ることを恥ずかしがるのかと思いきや、今どきの小学生はまだお母さんが好きなようです。子供たちの案内による万田坑は、いかがだったでしょうか？ 万田坑を見学するのか、我が子を参観するのか？ 我が子の説明の仕方が気になって、説明の内容が頭に入らない！ということもあるようないような。

人権フェスティバル

12月6日(土)に、荒尾市人権フェスティバルが、総合文化センターで行われました。荒尾市の小学校からは、万田小の4年生と八幡小の5年生がステージ発表をしました。

命を大切にしたい。人を大事にしたい。学んだことを伝えたい。そんな思いが会場にあふれていきました。私も見ていて感動しました。



帰りの会に参加したら…

最近、下校中のトラブルが多いので、落ち着いた雰囲気の中で「さようなら」が言えるよう、帰りの会の時間に、校舎内を見て回りました。

6年生の教室に差し掛かったところ、担任の先生が、個別指導中で教室に不在だったので、私が代わりに教室に入り、帰りの会を進めようとした。すると、男の子が「校長先生、僕が帰りの会を進めます。」というので、お任せして、私は後ろの席から傍聴することにしました。

黙想から始まり、係からの連絡。すると、レクレーション係？が前に出てきて「じゃんけん大会」が始まります。6年生でもじゃんけんが楽しいのか？と思いながら、「勝ったら何かもらえるの？」と聞くと、「愛情がもらえます。」と。「愛情かあ」と言いながら私も参加して、「はじめはグー、じゃんけんポン」でチョキを出したら相手もチョキ。「あいこは立つっていい？」というと、「あいこは座ってください。」と。「ちえっ」と言って座ったら、横の女の子が「校長先生の『ちえっ』の発音が素晴らしい。」とほめてくれました。あいこだったけど、愛情をもらえた気分で6年教室を後にしました。

続いて、低学年の教室をのぞいてみると、帰りの準備中でした。男の子が床に落ちたノートの束を集めています。台の下に隠れていたら、台の上のノートが落ちてしまったのだそう。「いつまでたっても帰られんけん、みんな座って。」と誰かが注意をしています。「タイムリミットを5分も過ぎてるよ。」と先生が言っています。「あっ、俺、日直だった。」と、今頃帰りの会の司会をしようと前に出てきたところで、「今日は、時間がないから帰りの会は無し。」と先生が言っています。そうなんです。低学年の帰りの準備は、結構時間がかかります。

ひまわり教室は、すでに帰りの会が終わったのか、子供たちが元気よく中庭を走ってきます。続いて、先生方も出てきて子供たちを見送ります。暑い日も寒い日も、外に出て子供たちを見送り、引き渡す、毎日の光景です。頭が下がります。

家庭での支え、学校での学びにより、子供たちは、ゆっくりかもしれません、成長しているんだなあと感じます。低学年の子供たちも、数年後には立派な帰りの会ができるでしょう。